

平成26年度真庭市総合防災訓練 台風被害を想定した総合防災訓練



横転した車両から救出する訓練を行う真庭消防署



写真上：吹き出しの訓練を行う赤十字奉仕団(市民ボランティア)
写真左：医師によるトリアージ(識別救急)を行い、救急搬送を実施

9月7日、ハイランドおちあい駐車場場で真庭市総合防災訓練が行われました。真庭市は大規模災害に備え、隔年で訓練を実施しており、当日は行政機関に加え、消防団や医療機関、地域住民など21団体から500人以上が参加しました。避難訓練や救出訓練、放水訓練のほか、今年度は県内で行われる訓練では初となるラジコンヘリコプターによる被害地偵察訓練も行われました。また、各団体が体験メニューやパネル展示を行い、防災意識の啓発も行われました。

8月28日、(828)安心・安全パトロール活動出発式が、市役所で行われました。真庭市は、交通死亡事故発生率が県下ワースト1位となるなど、憂慮すべき状況です。このこと踏まえ、真庭市の面積828・43平方キロメートルにちなみ、今後の交通事故の発生件数を限りなくゼロにすることを目的に、毎月8日と28日に市全域で一斉にパトロールを行い、交通事故防止の啓発、防犯活動を行っていきます。

まにわ安心安全パトロール 交通事故限りなくゼロへ



出発式で関係者を前にあいさつする市長



軒先で陰干しする色鮮やかなピーマン

中和地域あるもの探し とっておきを見つけよう

中和地域内の2カ所(別所・一ノ茅)で「あるもの探し」が8月23日に行われました。地域住民が地域学の専門講師や地域おこし協力隊と一緒に散策を行い、普段あまり気が付かないものなどを調査。探索後は、記録した内容を元に図面に位置を記載し、発見や地域活性化の可能性について意見交換を行いました。この「あるもの探し」は、今後の地域づくりに役立てるため地域総合整備財団の助成を受け実施されました。



市政に関する動きの一部を紹介します

8/24 湯原ダム建設の貴重な映像を上映

森山図書館で湯原ダム建設記録映画の上映会が行われました。昭和27年ごろからダム完成までのニュース5本を編集したものが上映され、当時の地域の風景や作業の様子を参加者は、懐かしみながら見入っていました。



8/27 大阪で真庭の特産をアピール

大阪タカシマヤで真庭市の特産品をPRする「まにわフェア」が9月2日まで開催されました。ジャージー牛製品やお茶、ワイン、ようかん、味噌などの特産品のほか、ひるぜん焼そばの販売も行われました。



9/12 いろんな生き物見つけた

落合小学校1・2年生を対象に、川の学習が行われました。川にはどんな生き物がいるのか、身近な川での環境学習を目的に開催されています。子どもたちは、楽しそうに魚やエビなどを捕まえていました。



市長室から
こんにちは!

里山資本主義が実感できる真庭を!

私は職員に奮起を促す意を持って、真庭市は、「霞が関で有名」と言っておりますが、藻谷浩介さんの著書「里山資本主義」で紹介され、地方創生が国政の重要課題となる中で、バイオマス産業都市、CLT（直交集成板）の中心地として、ますます注目されつつあります。8月に林農林水産大臣、9月に小泉政務官の視察がありましたが、安倍総理をはじめ政治家、政府の皆さんは真庭をよくご存知です。私も9月だけで京都、広島、東京で4回講演しました。しかし、真庭を活性化させる本番はこれからで、上滑りは禁物です。初心を忘れることなく、謙虚に気を引き締めて、「希望と元気のままにわづくり」にまい進して参ります。



市長に思いを述べるものがたり会議メンバー

総合計画策定「ものがたり会議」の意見をまとめた提言書が9月10日、会議のメンバー（代表・市和真さん）から太田市長に手渡されました。提言書のタイトルは「山中八咲」で、幕末に活躍した坂本龍馬が京都に向かう船の中で描いた船中八策に倣ったもの。8回の会議の中から真庭の未来を思い描いて咲かせたいという意味を込めて命名しました。市では、これらの意見を受けた計画案を作成し、意見公募を行う予定です。

ものがたり会議提言書提出
思いまとめた「山中八咲」



実演を交えての離乳食作りを学ぶ参加者

9月18日、1歳未満の乳児と保護者10組が参加し、離乳食教室が北房文化センターで開催されました。離乳食をいつから、どんなものを食べ始めればいいのかなどの話を聞いた後、調理室で栄養士による離乳食の調理の実演が行われ、参加者は真剣に話を聞いていました。最後に、作られた離乳食を試食して舌触りや味の濃さを確かめ、子どもに食べさせながら保護者同士で意見交換。和やかな教室となりました。

離乳食教室
我が子のために勉強